

# 滋賀県職員の志(パーパス)について

総務・企画・公室常任委員会資料13-2  
令和6年(2024)年3月7日  
総合企画部企画調整課・総務部行政経営推進課

昨年1月より、「何のために、誰のために、私達が今、滋賀県職員として共に働いているのか」をテーマに、職員間で議論してきたところ。滋賀県職員として働くに当たり、いつでもその拠り所(原点)に立ち戻れるよう、**滋賀県職員の志(パーパス)**として策定した。

滋賀県職員の志(パーパス)	<b>琵琶湖とくらしを守る。三方よしで笑顔を広げる。豊かな未来をともにつくる。</b>
志(パーパス)に込めた思い	滋賀の山、川、里、湖、そして海までのつながりを持つ琵琶湖を中心とした自然、そしてその恵みを受けた滋賀のくらしを支え、守ります。 三方よしの精神を持って、困っている方一人ひとりに寄り添い、一人でも多くの方が笑顔でいられるよう、ありがとうと感謝に満ちた社会を築きます。 今だけでなく、次世代を担う子どもの視点に立ち、県民、企業・団体や国・市町の皆様をつなぎ、滋賀に関わるすべての人とともに豊かな未来をつくり ます。  ～県民の幸せが職員の幸せ、職員の幸せが県民の幸せ～ 志の実現は職員の幸せであり、県民の幸せとともにあります。

策定のねらい
✓ 職員の <u>チームワーク</u> や、仕事への <u>モチベーション</u> の向上、また未来の担い手にも滋賀県職員として一緒に働きたいと感じてもらうこと。 ✓ 県民や企業等の皆様に志(パーパス)に共感してもらい、新たな価値や魅力を共に創る「 <u>共創</u> 」につなげること。

今後の実践
本取組は、職員が志(パーパス)について考え続け、それに沿った政策・施策等の実施を通じ、上記の「ねらい」を達成するために、 <u>長期的に取り組むべきもの</u> 。来年度以降、以下から取組を開始する予定。 ✓ 組織目標の検討と併せて、滋賀県職員の志(パーパス)を踏まえた「 <u>所属の志(パーパス)</u> 」を所属職員同士で議論・共有。 ✓ その他、名刺や職員採用案内などへの掲載 等々

これまでの経緯	
令和4年度 1～3月	・知事年始挨拶で庁内議論呼びかけ ・県政経営会議で議論
令和5年度 4～6月	・職階別研修(新規採用職員研修等)で意見募集 ・庁内掲示板で「パーパス」をテーマに情報発信開始(現在39回実施)
7～9月	・県政経営サマーセミナー開催 ・パーパス発掘WG設置・活動、レポート取りまとめ ・パーパス発掘WS開催(本庁・地方で計10回) ・知事とWGメンバーの職員座談会開催
10～12月	・県政経営会議で議論(パーパスとなるキーワードの絞込み等) ・滋賀県職員の志(パーパス)の候補案作成 ・職員共感度調査の実施 ・県政経営会議で議論(候補案の絞込み)
1～3月	・県民共感度調査の実施 ・県政経営会議で議論(滋賀県職員の志(パーパス)の決定)